

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した来庁者用備品等整備事業（施設名 福島区役所）

- ・ 区役所待合ロビーで国産木材のベンチを使用することで、自然や環境への興味・関心を高め、木材の魅力発信や国産木材の需要拡大、SDGsの普及啓発を図った。

【事業費】26,598千円（うち譲与税26,598千円）

【実績】国産木材製窓口カウンター、記載台、ベンチ、チェア、パンフレットラックの設置



□ 事業スキーム

- ・ 制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・ 来庁者に、木の良さを実感してもらい自然や環境への興味・関心を持ってもらえるように、座り心地や使いやすさなどの来庁者の利便性を重視しつつ、庁舎内の雰囲気にあったデザインを採用するなど、景観との調和にも配慮した。



□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より